

Pioneer



重要

最初に行ってください。

3Dハイブリッドセンサーのリセット
24ページ

6.5型ワイドTV付 DVDカーコンピューターセット

AVIC-D6500

スタートブック

はじめに
読む本

必ず、お読みください。

取扱説明書の分冊構成については、
4ページでご確認ください。

carrozeria

目次 6ページ

安全のために必ずお守りください

絵表示について

取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意(警告を含む)しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止(やってはいけないこと)の内容です。



必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

安全上のご注意 (別冊の「安全上のご注意」もお読みください。)

警告

[使用方法]

運転中に操作をしない



禁止

画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最低限としてください。

走行中にテレビやビデオを見ない



禁止

運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。走行中にテレビやビデオを見ると前方不注意となり交通事故の原因となります。

[異常時の処置]

故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



規定容量の
ヒューズを



必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

こんなときはこの説明書をご覧ください

取り付けかたや接続のしかたを知りたいときは

「取付説明書」をお読みください。オーディオ機器との接続のしかたについても、ここで説明しています。



本機を使い始める前に

「スタートブック」(本書)をお読みください。本機を取り付けた後、実際に使い始めるまでに必要な操作を説明しています。

TVモニターの調整のしかたも、本書で説明します。



ナビゲーションの基本的な操作に慣れるまでは

「クイックブック」をお読みください。ナビゲーションの基本的な使いかたを、ふだんよく使う機能を中心に説明しています。



本機には、5種類の説明書が同梱されています。ご利用状況に応じて使い分けてください。

操作がわからなくなったときは

「レスキューブック」をお読みください。ナビゲーションの操作に関するさまざまな疑問にお答えします。



ナビゲーションの機能をもっと活用したいときは

「ナビゲーションブック」をお読みください。ナビゲーションの全機能の使いかたを知ることができます。ナビゲーションの操作辞典としてご利用ください。



Memo

説明書で使っている画面例は、実際の画面と異なる場合があります。
実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。



初めてお使いになるときは、必ず3Dハイブリッドセンサーのリセットを行ってください（「リセット作業を行う」24ページ）。3Dハイブリッドセンサーのリセットを行わないと、ナビゲーションの誤差が大きくなる場合があります。

安全のために必ずお守りください	2
安全上のご注意	3
こんなときはこの説明書をご覧ください	4
目次	6

1. はじめに

主な特長	8
ご使用前に知っておいていただきたいこと	10

2. 準備

準備1：リモコンの準備をする	12
リモコン設定スイッチを切り換える	12
リモコンに電池をセットする	13
リモコン	13
音声認識コントローラー	13
準備2：各部のなまえと主な働きを知る	14
各部のなまえ	14
ナビゲーション本体	14
TVモニター	15
リモコン	16
音声認識コントローラー/マイク	17
リモコンの操作モードについて	18
テレビ操作モードに切り換えたとき	18
オーディオ操作モードに切り換えたとき	19
リモコンのジョイスティック/決定ボタンの使いかた	20
ジョイスティックとして使う	20
決定ボタンとして使う	21
準備3：ディスクを本体にセットして電源を入れる	22
電源の入れかた	22
電源の切りかた	23
準備4：3Dハイブリッドセンサーをリセットする	24
リセット作業を行う	24
エラーメッセージが表示されたときは	26
停車中にエラーメッセージが表示されたときは	27
走行中にエラーメッセージが表示されたときは	27

3. TVモニターの操作

TVモニターでの基本的な操作	28
見たい映像に切り換える	28
ワイド画面の拡大のしかたを変える	29
ワイドモードの種類	30
内蔵スピーカーから出力される音声を選ぶ	31
音声案内を聞きたくないときは	32
内蔵スピーカーの音量を調整する	33
カーステレオのスピーカーで音声を聞く	33
テレビを見る	34
チャンネルを選ぶ	34
現在のチャンネルを確認する	34
記憶されているチャンネルを確認する	35
自動的に複数のチャンネルを記憶させる	35
記憶されていないチャンネルを見る	36
カーステレオからテレビの音声を出力する	37
リストを表示してチャンネルを選ぶ	38
自分がある地域のチャンネルを選ぶ	39
TVモニターを調整する	40
設定画面の基本的な操作	40
設定画面を表示する	40
設定画面を選ぶ	40
項目を選ぶ	41
設定を変更する	41
設定を続ける/終了する	41
映像の黒の濃さや色を調整する	42
液晶画面の明るさを調整する	44
音声をFM付きカーステレオで聞く	46
FMトランスミッターのレベルを調整する	48
テレビの音声に音声案内を重ねる	49
音声案内がよく聞こえるようにする	50
チャンネルの記憶を変更する	51

1

2

3

4

4. 付録

リセットのしかた	53
ディスクの正しい使いかた	54
TVモニターの正しい使いかた	56
保証書発行兼お客様登録カードとアフターサービス	58
仕様	60

主な特長

高精度、高速化。ナビゲーションの基本機能がさらに充実。

精度専用のチップを搭載し、処理速度を向上しています

精度関連の処理を専門に行うチップを搭載しました。精度を向上させるだけでなく、スクロールやルート探索、検索など、すべてのナビゲーションの機能が速度アップしています。

3Dハイブリットセンサーにより、自車位置を正確に表示できます

3Dハイブリットセンサーで、坂道の登り降り（地面の傾斜）を検知できます。このため、立体交差の道路、地図上で重なりあっている道路なども的確に判断でき、測位に反映します。

D-GPSやマップマッチング機能で、さらに精度を高めています

GPS衛星からの情報に含まれる誤差を修正するD-GPS（ディファレンシャルGPS）や、マップマッチング機能を備えているので、さらに精度よく測位できます。

VICS（道路交通情報通信システム）の情報を利用できます

FM多重放送によるVICS情報を受信して、渋滞情報を地図上に表示できます。

10mスケールまで地図を詳細にできます

10mスケールまでの詳細な地図を表示できるので、入り組んだ道路でも細かく確認できます。

DVDの大容量を活かした豊富な情報を収録しています

電話番号や郵便番号のデータ、各種施設のデータなど、2層DVD・8.5GBならではの豊富な情報が収録されています。データ量は膨大ですが、高速処理ができ、探したい場所もすぐに見つけられます。

音声でナビゲーションをコントロールできます

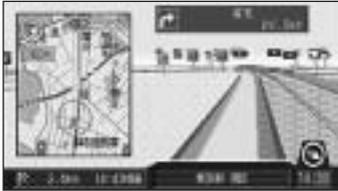
音声操作でナビゲーションを簡単かつ安全にコントロールできます。ナビゲーションの音声に答えていくだけで、ルート設定などの機能を操作できます。

音声操作を行うには、別売の音声認識キット「CD-V100」が必要です。

ナビゲーションの次のステップに。新しい機能。

よりドライバーの視点に近い地図表示ができます

新しい地図表示のドライバースビューやビジュアルシティマップで、よりドライバーの走行感覚に近い表示ができます。



よく使う道を学習。ルート探索に反映します

ナビゲーションが通った道を学習します。よく使う道をルート探索の際、優先的に利用させることができます。

細い道の探索も可能となり、ドアtoドア探索ができます

住宅地などの細い道路までも表示することができるため、まさに自宅から目的地までのドアtoドア探索が可能となりました。

また、このときに設定されたルート上の細い道路はピンク色で表示されるため、細い道路であることを簡単に判別できます。

ご使用前に知っておいていただきたいこと

お使いになる地図ディスクについて

本機のご使用にあたっては、付属のナビゲーション用DVD-ROMディスク「DVDナビゲーションマップ・タイプ」をお使いください。「DVDナビゲーションマップ」は使用できません。また、CD-ROM（「スーパーエリアマップシリーズ」や「ロードナビゲーターシリーズ」など）も使用できません。

現在地の表示について

初めて本機を使うときは、現在地とは異なる地図が表示されたり、地図上に表示されている現在地と実際の自車位置が大きくずれることがあります。これは故障ではありません。しばらくすると正しい現在地が表示されます。また、本機は自車位置と現在地の誤差を補正する機能をそなえています。この働きによって、走行を重ねるにつれて精度が高くなり、ずれが少なくなってきます。

安全走行のために

本機では、パーキングブレーキのON/OFFを検知しており、走行中にテレビの映像を見ることができないようになっています。また、走行中はナビゲーションやTVモニターの各種設定・調整はできません。（走行中は次のようなメッセージが画面に表示されます。）

安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけ、メッセージが消えてから、操作してください。



VICS情報を受信する設定にした場合は、VICSの規定により走行中は5.5m未満の細街路を表示しない仕様になっています。

画面が見えにくいときは

液晶画面は、その構造上きれいに見える角度が限られています。ただし、「設定MENU・画質調整」の「黒の濃さ」を調整することにより、映像がきれいに見える角度を変えることができます。初めてお使いになるときは、画面がきれいに見えるように、見る角度に合わせて「黒の濃さ」を調整してください。また、液晶画面自体の「明るさ」も変更できますので、お好みに応じて調整してください。（「映像の黒の濃さや色を調整する」42ページ）

昼間と夜間の色の違いについて

夜間、周囲が暗くなってくると、画面が明るすぎて表示されている映像が見えにくくなってしまうことがあります。そこで、本機では昼画面と夜画面とで画面の配色を変えて、それぞれ見やすい画面を表示します。このため日没の時刻になると、画面は自動的に夜画面に変わります。また、周囲の明るさに合わせて、液晶画面の明るさが自動的に変わります。

昼画面・夜画面の切り換えを車のライトのON/OFFと連動させたり、つねに昼画面を表示させておくこともできます。(『ナビゲーションブック』Chapter8の「ナビゲーションの初期設定を変える」)



昼画面



夜画面

本書では、昼画面を例に説明しています。このため、夜画面が表示されている場合、本書の説明と画面の色が異なる場合があります。

バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、かならず車のエンジンをかけてください。エンジンがかかっていないときに本機を使用すると、バッテリーが消耗します。

携帯電話をお使いになるときは

携帯電話をお使いになるときは、携帯電話のアンテナをTVモニターに近づけないでください。画面にはん点や色模様などのノイズが出たり、映像が乱れたりすることがあります。

別売の音声認識キット「CD-V100」について

「CD-V100」は、音声認識コントローラー/マイクがセットになった製品です。本機にマイクを接続することで、本機を音声で操作できるようになります。

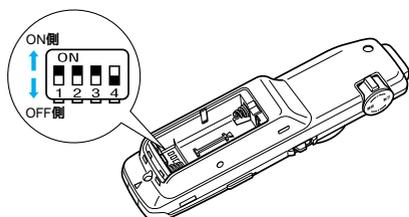
TVモニターの液晶画面を保護するために

本機を使用していないときは、TVモニターに直射日光が当たらないようにしてください。高温のために液晶画面が故障する恐れがあります。(「TVモニターの正しい使いかた」56ページ)

準備1：リモコンの準備をする

リモコン設定スイッチを切り換える

リモコンの裏ボタンをはずすと、下図で示した位置にリモコン設定スイッチがあります。設定スイッチを切り換えなくてもお使いいただけるように設定されていますが、必要に応じてスイッチ4をボールペンの先などで次のように設定してください。



スイッチ1：使用しません

スイッチ2：使用しません

スイッチ3：使用しません

スイッチ4：オーディオボリューム

リモコンの操作モード切り換えスイッチが「AUDIO」のとき、組み合わせるカーステレオのシステムによって切り換えます。

通常はOFF側でお使いください。メインユニットにDSPを接続したときは、ON側に切り換えてお使いください。

Memo

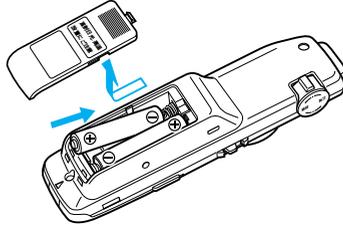
リモコンの取り扱いに関するご注意

- リモコンを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障することがあります。リモコンを使用しないときは、グローブボックスなど直射日光の当たらないところに保管してください。
- リモコン受光部に直射日光が当たっていると、リモコンの操作ができないことがあります。

リモコンに電池をセットする

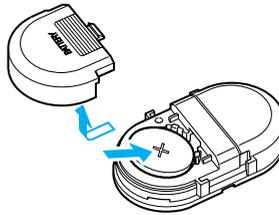
リモコン

裏ボタンをはずして、単4形アルカリ乾電池（LR03）2本をセットします。



音声認識コントローラー（別売「CD-V100」）

裏ボタンをはずして、リチウム電池（CR2032）を（+）側を上にしてセットします。



Memo

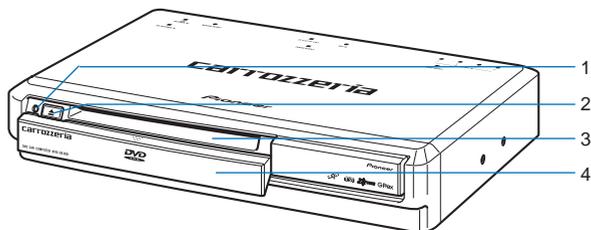
電池の取り扱いに関するご注意

- 乾電池やリチウム電池は充電できません。
- リモコンや音声認識コントローラーを長期間使わないときは、電池を取り出してください。また、取り出した電池は、幼児の手の届かないところに保管してください。
- 電池の液もれが起こったときは、内部に付着した液をよく拭き取ってから新しい電池と入れ換えてください。
- リモコンや音声認識コントローラーからの信号が受け付けられる範囲が狭くなってきたときは、新しい電池と交換してください。
- リモコンの電池を交換するときは、電池寿命の長いアルカリ電池のご使用をおすすめします。

準備2：各部のなまえと主な働きを知る

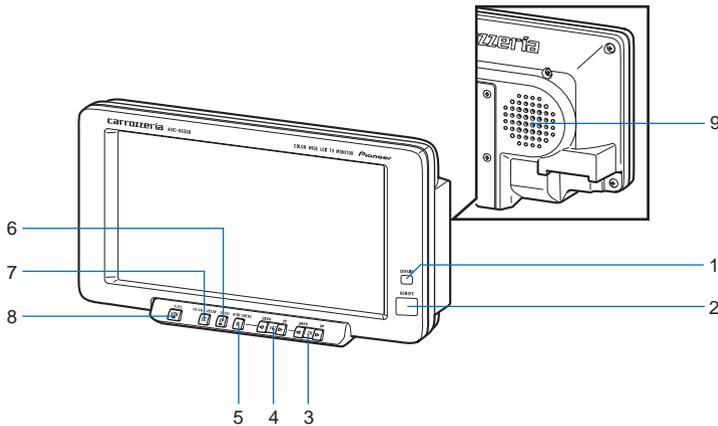
各部のなまえ

ナビゲーション本体



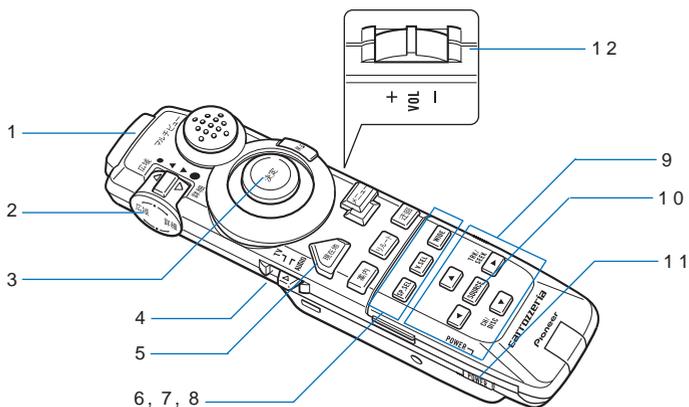
- (1) リセットボタン (53ページ)
 - (2) ディスク取り出しボタン
 - (3) ディスク挿入口
 - (4) フロントドア
- 下にスライドさせるとドアが開きます。

TVモニター

2
準備

- (1) 外光センサー (44ページ)
周囲の明るさを検知します。
- (2) リモコン受光部
リモコンからの信号を受信します。
- (3) CHボタン (34ページ)
テレビのチャンネルを切り換えます。
- (4) VOLボタン (33ページ)
内蔵スピーカーの音量を調整します。
- (5) WIDE/MENUボタン (29、40ページ)
ワイド画面を切り換えたり、TVモニターを調整したりするときに使います。
- (6) SP.SELボタン (31ページ)
内蔵スピーカーから出力する音声を切り換えます。
- (7) CH-CALL/BSSMボタン (34、35ページ)
チャンネルを確認したり、受信可能なチャンネルを記憶したりするときに使います。
- (8) V.SELボタン (28ページ)
TVモニターに表示する映像を切り換えます。
- (9) 内蔵スピーカー

リモコン



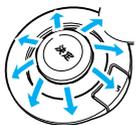
(1) リモコン送信部

ここからリモコンの信号が送られます。

(2) スケールコントローラー

地図の縮尺を変えるときに使います。

(3) ジョイスティック / 決定ボタン



上下・左右・斜めに倒すと、ジョイスティックになります。



まっすぐ押すと、決定ボタンになります。

(4) 操作モード切り換えスイッチ

(18ページ)

(5) 現在地ボタン

地図上に自分の車の現在地を表示します。

(6) SP.SELボタン (31ページ)

TVモニターの内蔵スピーカーから出力する音声を切り換えるときに使います。

(7) V.SELボタン (28ページ)

見たい映像に切り換えるときに使います。

(8) WIDEボタン (29ページ)

ワイド画面の種類を選ぶときに使います。

(9) ▲・▼・◀・▶ボタン (18ページ)

(10) SOURCEボタン (18ページ)

(11) POWERボタン

本機の電源を入/切します。

(12) VOLツマミ (18ページ)

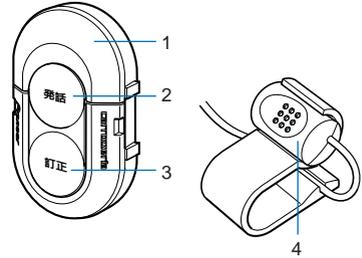
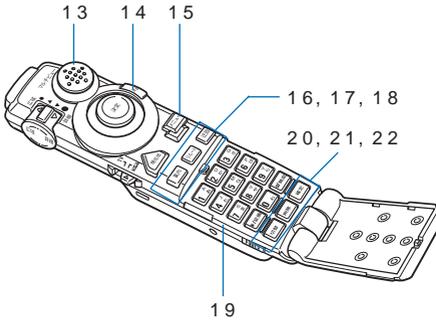
手前に動かすと音量が小さくなります。

反対側に動かすと大きくなります。

- 操作モード切り換えスイッチが「TV」のときは、TVモニター内蔵スピーカーの音量を調整します。

- 操作モード切り換えスイッチが「AUDIO」のときは、パイオニア製カーステレオの音量を調整できます。

音声認識コントローラー／マイク (別売「CD-V100」)



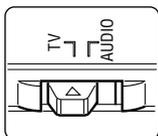
2 準備

- (13) マルチビューコントローラー
地図の向きを変えたり、地図を見る角度を変えるときに使います。
- (14) 戻るボタン
前の画面に戻るときに使います。
- (15) メニューボタン
メニュー画面を表示させるときに使います。
- (16) 案内ボタン
ナビゲーションの音声案内をもういちど聞きたいときに押します。
- (17) リルートボタン
ルート探索をやりなおすときに押します。
- (18) 迂回ボタン
迂回路を探索させるときに使います。
- (19) 10キー
ナビゲーションの電話番号検索などに使います。
- (20) 切替ボタン
文字の種類を切り換えるときに使います。
- (21) 削除ボタン
入力した文字を削除するときに使います。
- (22) 確定ボタン
入力した文字を確定するときに使います。

- (1) リモコン送信部
ここからリモコンの信号が送られます。
- (2) 発話ボタン
ナビゲーションを音声で操作したいときに押します。
- (3) 訂正ボタン
音声での操作中に、直前の操作を取り消すときに押します。
- (4) マイク
発話ボタンを押したあと、このマイクを通してナビゲーションを操作します。

リモコンの操作モードについて

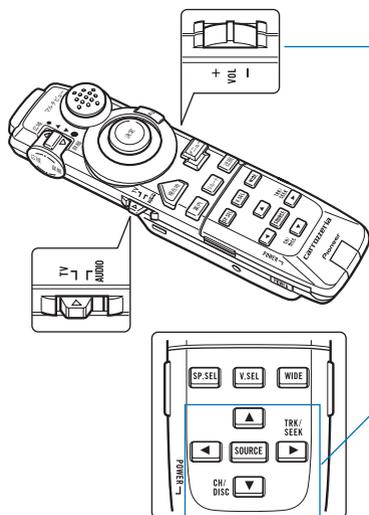
本機に付属のリモコンでは、ナビゲーションの操作はもちろん、テレビやパイオニア製カーステレオ(メインユニット)の操作を行うこともできます。操作モードは、リモコンの左側面にある操作モード切り換えスイッチで切り換えます。操作モードを切り換えることによって、リモコンのVOLツマミおよび▲・▼・◀・▶ボタンの働きが変わります。



「TV」にすると、テレビ操作モードに切り換わります。
「AUDIO」にすると、オーディオ操作モードに切り換わります。

テレビ操作モードに切り換えたとき

ナビゲーションの機能を利用して、テレビの操作を行います。



VOL ツマミ
TVモニター内蔵スピーカーの音量を調整できます。

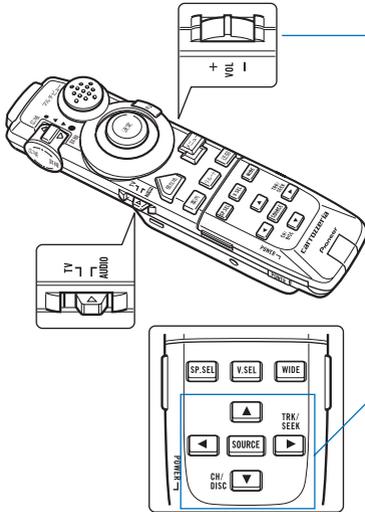
▲・▼ボタン
自分がいる地域のテレビ局のチャンネルや記憶されているチャンネルを選局するときに使います。

◀・▶ボタン
リスト表示されないチャンネルを選局するときに使います。

SOURCEボタン (37ページ)
カーステレオのスピーカーからテレビの音声を出力したり、OFFにしたりできます。
また、自分がいる地域で受信できるテレビ局をリスト表示させ、見たいチャンネルを選ぶときに使います。

オーディオ操作モードに切り換えたとき

パイオニア製カーステレオの操作を行うことができます。(オーディオ操作モードでカーステレオの操作を行うときは、リモコンをカーステレオに向けて操作してください。)



VOL ツマミ

カーステレオの音量を調整できます。
ツマミを押し込むと、音量が約1/10になります。
(押し込むたびに、カーステレオのアッテネーターをON/OFFできます。)

▲・▼・◀・▶ボタン

カーステレオの▲・▼・◀・▶ボタンと同じ働きをします。

SOURCEボタン

カーステレオのSOURCEボタンと同じ働きをします。

Memo

- リモコンで操作を行うときは、スイッチの位置を確認してから操作してください。
- カーステレオによっては、本機のリモコンで操作できない場合があります。

リモコンのジョイスティック / 決定ボタンの使いかた

本機のおさまざまな機能を使うためには、画面上に表示されるメニュー項目やボタン等を選んで実行させる必要があります。

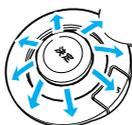
この操作は、リモコン上のジョイスティック / 決定ボタンを使用して行いますので、使いかたを十分に理解しておいてください。



各説明書では、ジョイスティック / 決定ボタンを操作の違いを明確にさせるために、ジョイスティックと決定ボタンとに使い分けて表記しています。

ジョイスティックとして使う

画面上に表示されるメニュー項目やボタン等を選んだりする場合や、地図を任意の場所まで動かしたりする場合に使用します。



ジョイスティックとして使う場合は、上下・左右・斜めに倒します。



ボタンの選択

この場合は、ジョイスティックを上下に倒すことでボタンを選ぶことができます。選ばれたボタンは、文字が反転表示されます。



地図を動かす（スクロール）

現在地が表示されている状態でジョイスティックを任意の方向へ倒すと、倒した方向へ地図が動きます。

決定ボタンとして使う

選ばれたメニュー項目やボタン等を実行する場合や、ショートカットメニューを表示させる場合などに使用します。



決定ボタンとして使う場合は、まっすぐにご押しします。



ボタンの決定

メニュー項目やボタン等を選んだ後に決定ボタンを押すと、選ばれた内容を実行します。



ショートカットメニューの表示

地図画面上で決定ボタンを押すと、ショートカットメニューが表示されます。

準備3：ディスクを本体にセットして電源を入れる

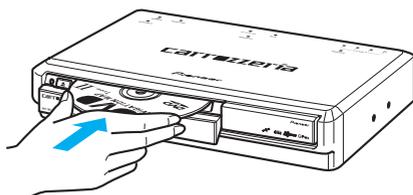
電源の入れかた

1. 車のエンジンをかける
2. 本体前面のフロントドアを開ける



フロントドアを下にスライドさせます。

3. タイトル面を上にして、ディスクを挿入口に差し込む



注意
ディスクを入れたら、必ずフロントドアを閉じてください。

4. フロントドアを閉じる

ディスクを挿入するといったん電源が入/切します。その後、再び電源が入りオープニング画面が表示されます。



Memo

リセットボタンを押した後やバッテリーを外した後などに、いったん電源が入/切することがありますが、故障ではありません。



初めてお使いの場合は、しばらくすると上の画面が表示されます。このあとは24ページに進み、必ず3Dハイブリッドセンサーのリセットを行ってください。

(センサーリセットが正しく行われると、次からは現在地を示す地図が表示されます。)

電源の切りかた

POWERボタンを長く押しすと、電源が切れます。もう一度POWERボタンを長く押しと、再び電源が入ります。

Memo

お使いになるディスクについて

- 本機では、付属のDVDナビゲーションディスクなど、本機専用のDVD-ROMのみお使いいただけます。

ディスクの取り扱いについて

- セットしたディスクは、通常取り出す必要はありません。ディスクを交換する必要があるときは、ディスク取り出しボタンを押して、取り出します。
- 取り出したディスクは、ケースに入れて保管してください。

電源ON/OFFに連動してオートアンテナを上下させるには

- FM多重用アンテナとして車載のオートアンテナを本機に接続している場合は、本機の電源がONのときにオートアンテナが上がるように設定します。10キーカスタマイズの「オートアンテナを上下する」を10キーのいずれかに割り当てて操作してください。(『ナビゲーションブック』Chapter9の「10キーをカスタマイズする」)

準備4：3Dハイブリッドセンサーをリセットする

電源を入れたら、本体内蔵のセンサーをリセットします。初めてお使いになる場合は、必ずこの操作を行ってください。また、タイヤを変更した場合なども、この操作を行います。

こんなときはセンサーをリセットしてください

- 本機の取り付け完了後
- 本機の設置場所を変更したとき
- タイヤを変更したとき
(同一サイズのタイヤでも、わずかにサイズが異なります。同一サイズのタイヤに交換した場合に、自転車位置のずれが大きくなるようなときは、センサーをリセットしてください。)
- 未使用のセンサーメモリーに切り換えたとき (『ナビゲーションブック』Chapter8の「ナビゲーションの初期設定を変える」)

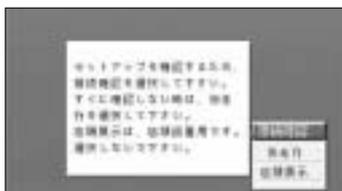
リセット作業に適した場所は？

正しくリセットを行うために、次のような場所を選んでください。

- しばらくの間、安全に停車できる場所
- GPS衛星の電波を受信しやすい、見晴らしの良い場所 (周囲に高い建物や樹木があったり、ビルの駐車場の中にいたりすると、GPS衛星の電波を受信できないことがあります。)
- 水平な場所 (坂道や、路面の起伏が大きい場所では、正しくリセットできません。)
- 30km/h以上の速度で、10秒以上直進できる場所 (約100m程度の距離)

リセット作業を行う

1. 作業に適した安全な場所に車を止める
2. POWERボタンを押して、本機の電源をONにする
3. ジョイスティックを操作して画面から【接続確認】を選び、決定ボタンを押す



Memo

とりあえず車を移動したいときは、【仮走行】を選んでください。ただし、【仮走行】を選んだ場合は自車位置の精度が悪く、またナビゲーションの機能も完全には使用できません。【仮走行】を行った後は、必ずセンサーリセットの操作を行ってください。（センサーリセットが完了するまでは、電源を入れ直すと、上の画面がしばらくの間表示されません。）

なお、【店頭展示】は、店頭でのデモンストレーション用なので、選択しないでください。

2

準備

4. ジョイスティックを上下に倒して【センサーリセット】を選び、決定ボタンを押す

「接続確認画面」が表示されます。



5. ジョイスティックを上下に倒して【開始】を選び、決定ボタンを押す センサーのリセット作業が始まります。停車したままでしばらくお待ちください。



6. 走行開始のメッセージが表示され、音声案内が流れたら、車を走行させる 水平な場所を、30km/h以上の速度で10秒以上、前方に直進させてください。



7. 作業終了のメッセージが表示され、音声案内が流れたら、安全な場所に車を止める

リセットが正しく行われると、画面上の自車マークが から▲に変わり、正しい現在地が表示されます。(リセットの状況により次の画面が表示されます。)

3Dハイブリッドで動作するとき



リセットがすべて完了すると、3Dハイブリッドで動作します。約10秒後にメッセージが消え、走行画面に戻ります。

簡易ハイブリッドで動作するとき



車速パルスが認識できないときは、簡易ハイブリッドでの動作となります。【確認】を選んで決定ボタンを押すと走行画面に戻ります。

エラーメッセージが表示されたときは

正しくリセットできなかった場合は、画面に次のようなメッセージが表示されます。



このようなメッセージが表示されたときは、【確認】を選んで決定ボタンを押し、次ページを参照してエラーの原因を取り除いてから、リセット操作をやり直してください。

停車中にエラーメッセージが表示されたときは(25ページ、手順5)

車を停車させ、センサーリセットの準備を行っているときには、次のようなメッセージが表示されます。

「本機の取付け位置を変更して下さい。」

停車状態で本機に大きな振動が伝わると、3Dハイブリッドセンサーがリセットされません。なるべく振動が伝わらない位置に、本機を取り付け直してください。

「車速パルスが検出されました。車を停止してリセットを行なって下さい。」

- 車が動いてしまった可能性があります。車を停止させた状態でリセットをやり直してください。
- 車を停止させた状態でこのメッセージが表示される場合は、『取付説明書』を参照して、ピンクリード線(車速信号入力)の接続が間違っていないか確認してください。

「GPSが測位できません。見晴らしのよい場所へ移動して下さい。」

- 建物や樹木などにより、衛星からの電波が受信できていないことが考えられます。見晴らしの良い場所に移動してください。
- 見晴らしのよい場所でも測位できない場合は、「接続確認画面」でGPSアンテナの接続状態を確認してください。また、GPSアンテナを車室内(ダッシュボード上など)に取り付けている場合、必ず付属の金属シートを使用してください。金属シートを使わなかったり、金属シートを切って使用すると、GPSアンテナの感度が落ちてしまいます。
- 「接続確認画面」でGPS感度を確認しながら、感度が一番良くなる場所にアンテナを取り付けてください。

走行中にエラーメッセージが表示されたときは(25ページ、手順6)

車を走行をさせてもリセットが行われなかった場合は、次のようなメッセージが表示されます。

「GPS受信が不安定です。見晴らしのよい場所で行なって下さい。」

建物や樹木などにより衛星からの電波が受信できていないことが考えられます。見晴らしの良い場所に移動して、リセットをやり直してください。

「Gセンサーの向きが間違っています。取付説明書を確認して下さい。」

『取付説明書』を参照して本機を取り付ける方向を変えるか、本機の底面にある角度の設定を変更してください。

「車速パルスが異常です。接続を確認して下さい。」

『取付説明書』を参照して、ピンクリード線(車速信号入力)の接続が間違っていないか確認してください。

「30km/h以上で走行して下さい。」

なるべく水平で、30km/h以上で直進走行できる場所に移動してから、リセットをやり直してください。

TVモニターでの基本的な操作

見たい映像に切り換えたり、画面や音声を調整することができます。

リモコンでTVモニターを操作するときは

- リモコンの操作モード切り換えスイッチを「TV」側に切り換えて操作してください。（「リモコンの操作モードについて」18ページ）
- リモコン受光部は、TVモニターに内蔵されています。リモコンはTVモニターに向けて操作してください。

見たい映像に切り換える

ナビゲーションの映像からテレビの映像に切り換えることができます。

1. TVモニターまたはリモコンのV.SELボタンを押す

V.SELボタンを押すたびに、TVモニターの映像がナビゲーションまたはテレビに切り換わります。

映像を切り換えたときは、画面左上に現在表示されている映像の種類が、約8秒間画面に表示されます。ナビゲーションは「NAVI」、テレビは「TV」と受信チャンネルが表示されます。

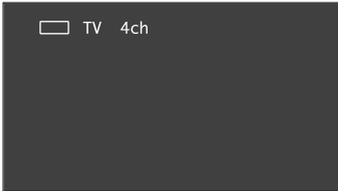
ワイド画面の拡大のしかたを変える

通常の映像（縦横比 4:3）を、ワイド映像（縦横比 16:9）に拡大する方法を選ぶことができます。見たい映像に合わせて、ワイドモードを切り換えてください。

1. テレビの映像を表示させる

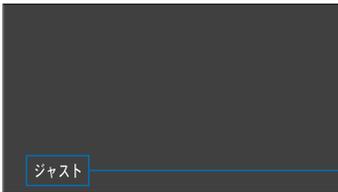
ナビゲーションの映像が表示されている場合は、TVモニターまたはリモコンのV.SELボタンを押して、テレビの映像を表示させてください。

（ナビゲーションの映像の場合、ワイドモードは切り換えられません。）



2. TVモニターのWIDE/MENUボタンまたはリモコンのWIDEボタンを押す

画面の左下に、現在選ばれているモードが表示されます。ボタンを押すたびに、「フル」「ジャスト」「シネマ」「ズーム」「ノーマル」「フル」の順番でワイドモードが切り換わります。（「ワイドモードの種類」）



現在選ばれているモード

8秒ほどすると、モードの表示が画面から消えます。

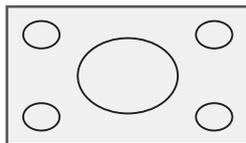
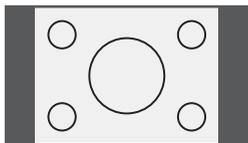
Memo

- 通常のテレビ放送の番組をズーム、ノーマル以外で見ると、映像の縦横比がもとの画面と異なるため、本来の映像とは見えかたに差が出ます。
- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り換え機能を利用すると（フル、ズームなどを利用して、画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと）、著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

ワイドモードの種類

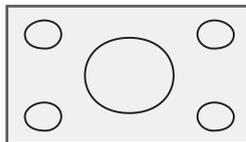
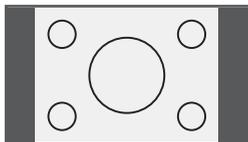
フル

4:3の映像を左右に拡大します。映像が欠けずに表示されます。テレビの画面を見るのに適しています。



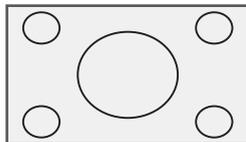
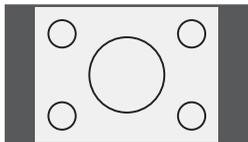
ジャスト

画面の両端に近づくほど、横に伸びる比率が高くなります。画面中央は通常の映像とほとんど同じ大きさで表示されるため、ワイド映像を違和感なく楽しめます。テレビの画像を見るのに適しています。



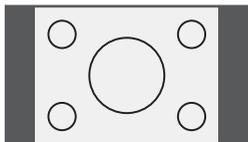
シネマ

フルとズームの中間の比率で上下を拡大します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の外の黒い部分に表示されるものに適しています。テレビの映像にした場合、映像の上下が欠けた状態で表示されます。



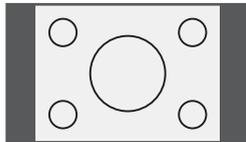
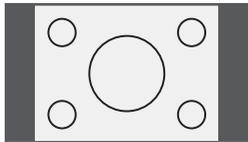
ズーム

4:3の映像を、上下・左右とも同じ比率で拡大します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の上にかぶっているものを見るのに適しています。テレビの映像にした場合、映像の上下が欠けた状態で表示されます。また、字幕が映像の外側に表示される映画では、字幕が欠けた状態で表示されます。



ノーマル

4:3の映像を拡大せずにそのまま表示します。テレビの映像を見るのに適しています。



内蔵スピーカーから出力される音声を選ぶ

内蔵スピーカーから出力される音声を切り換えることができます。TVモニターに表示されている映像とは別の映像の音声を聞くこともできます。

1. TVモニターまたはリモコンのSP.SELボタンを押す



ボタンを押すたびに、次の順で音声が切り換わります。画面左上に選ばれている音声の種類が、約8秒間表示されます。

「GUIDE」 ナビゲーションの音声案内

「TV+GUIDE」 テレビの音声+ナビゲーションの音声案内

「GUIDE」

音声案内を聞きたくないときは

本機では、ナビゲーションの音声案内が、テレビの音声に重ねて出力されるように設定されています。ナビゲーションの音声案内を聞きたくないときは、音声案内が出力されないようにすることもできます。

方法1：TVモニターまたはリモコンのSP.SELボタンを2秒以上押す

2秒以上押すたびに、音声案内のON/OFFが切り換わります。

方法2：設定メニューを使う

49ページの「テレビの音声に音声案内を重ねる」を参照して、設定を変更します。

音声案内をOFFにしてSP.SELボタンを押すと、次の順で音声切り換わります。

「OFF」 内蔵スピーカーから音声出力されなくなります。

「TV」 テレビの音声だけ出力されます。

「OFF」

Memo

テレビの音声を、カーステレオのスピーカーで聞くこともできます。(46ページ)

内蔵スピーカーの音量を調整する

1. TVモニターのVOLボタン、またはリモコンのVOLツマミで、好みの音量に調整する



約4秒間表示されます。

Memo

リモコンで操作するときは、リモコンの操作モード切り換えスイッチを「TV」にしてください。

カーステレオのスピーカーで音声を聞く

テレビの音声を、FMトランスミッター機能を使用してFM電波で飛ばし、その電波を通常のFM放送の場合と同じようにFM付きカーステレオで受信して聞くことができます。最初に、TVチューナーに内蔵されているFMトランスミッターの設定を行ってください。（「音声をFM付きカーステレオで聞く」46ページ）

テレビを見る

ここではテレビを見るときの操作を説明しています。

チャンネルを選ぶ

1. テレビの映像や音声にする
2. TVモニターのCHボタンを押して、見たいチャンネルを選ぶ
記憶されているチャンネルが切り換わります。(あらかじめVHFの1～12 chが記憶されています。チャンネルの記憶内容は変更できます。「自動的に複数のチャンネルを記憶させる」35ページ、「チャンネルの記憶を変更する」51ページ)



受信チャンネル（モノラル放送のときは緑色、ステレオ放送のときは黄色、2か国語放送のときは赤で表示されます）

記憶番号（1～12）

現在のチャンネルを確認する

1. TVモニターのCH-CALL/BSSMボタンを押す
現在受信中のチャンネルの番号が表示されます。



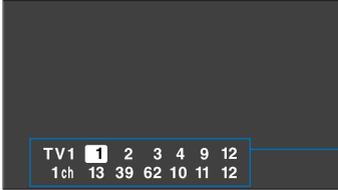
チャンネル表示・大（約3秒） 中（約1秒） 小（約2秒）の順に切り換わり、6秒ほどすると、チャンネル表示が消えます。

Memo

走行中にテレビの映像を見ることはできませんが、テレビの操作を行うことはできます。また、テレビの音声を聞くこともできます。

記憶されているチャンネルを確認する

1. TVモニターのCH-CALL/BSSMボタンを2回続けて押す
記憶されているチャンネルが一覧表示されます。一覧はチャンネルの記憶番号順に表示されます。(「チャンネルの記憶を変更する」51ページ)



約6秒間表示されます。
反転している番号が、現在受信中のチャンネル番号です。

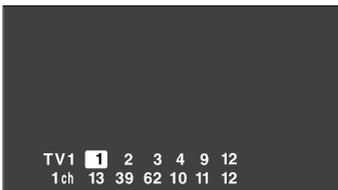
自動的に複数のチャンネルを記憶させる

受信状態のよいチャンネルをさがして、チャンネルの小さい順に記憶させることができます。(1度に12局を記憶します。)

1. TVモニターのCH-CALL/BSSMボタンを2秒以上押す
次の画面が表示され、記憶動作が始まります。



記憶動作が終わると、記憶したチャンネルが一覧表示されます。8秒ほどすると、一覧表示は消えます。



受信状態の良いチャンネルが12局より少ない場合、前に記憶していたチャンネルが最後のほうに残ることがあります。

記憶されていないチャンネルを見る

記憶されていないチャンネルでも、受信状態の良いチャンネルは自動的に選局することができます。また、電波が弱いために自動選局できないチャンネルは、手動で選局することができます。

リモコンで操作する場合は、手順1の操作は必要ありません。

1. TVモニターのCHボタンのUP側とDOWN側を両方同時に押して、自動選局/手動選局モードにする

UP側とDOWN側を同時に押すごとに、選局モードが切り換わります。

- [プリセット選局モード](PRESETと表示)

記憶番号で選局します。ふだんはこのモードにしておきます。

- [自動選局/手動選局モード](表示なし)

記憶されていないチャンネルを選局できます。

2. TVモニターのCHボタン、またはリモコンの◀ボタン・▶ボタンを押して、チャンネルを選ぶ

ボタンを押す長さによって、次のように選局方法を使い分けることができます。

選局方法	ボタンを押す長さ
手動選局(1ステップずつ)	0.5秒未満
自動選局	0.5秒以上

Memo

- 途中の放送局をとばしたいときは、ボタンを押し続けます(0.5秒以上)。ボタンを離れたところで、自動選局を開始します。
- リモコンで操作するときは、リモコンの操作モード切り換えスイッチを「TV」にしてください。
- CHボタンのUP側とDOWN側を両方同時に押すときは、CHボタンの中央を親指で押すようにすると、うまく押すことができます。

リモコンでは、ナビゲーションの機能を利用したテレビの操作も行うことができます。(この場合、ナビゲーションがテレビをコントロールします。)

- 37ページから39ページまでの操作は、ナビゲーションの映像を表示させてから行うことをおすすめします。リモコン操作を行うとナビゲーションの映像の上に操作ウィンドウが表示され、操作内容が確認できます。
- 操作ウィンドウは、操作後、約8秒間表示されます。操作ウィンドウをすぐに消したいときは、リモコンの戻るボタンを押してください。
- ナビゲーションの映像が表示されていないときは、操作ウィンドウは表示されませんが、操作を行うことはできます。(この場合、受信チャンネルなどは、テレビ側の表示で確認できます。)

カーステレオからテレビの音声を出力する(音声ソース切り換え)

FMトランスミッター機能などを利用して、カーステレオでテレビの音声を聞く設定にしている場合(「音声をFM付きカーステレオで聞く」46ページ)は、ナビゲーションの音声ソースを「テレビ」に切り換えてください。

1. リモコンの操作モード切り換えスイッチを「TV」にする

2. リモコンのSOURCEボタンを短く1回押す

画面に「テレビ」と表示され、カーステレオからテレビの音声が出力される設定になります。



ボタンを押すたびに、「テレビ」と「テレビ音声オフ」が交互に切り換わります。「テレビ音声オフ」のときは、カーステレオから音声は出力されません。

リストを表示してチャンネルを選ぶ

現在自分がいる地域の代表的なテレビ局のチャンネルと、テレビ側に記憶されているチャンネルを、合わせてリスト表示することができます。また、そのリストから見たいチャンネルを選ぶことも可能です。

1. リモコンの操作モード切り換えスイッチを「TV」にする
2. リモコンのSOURCEボタンを2秒以上押す
チャンネルがリスト表示されます。



3. リモコンの▲ボタンまたは▼ボタンを押して、見たいチャンネルを選ぶ

Memo

- 「テレビ音声オフ」のときは、この操作はできません。
- 自分がいる地域の代表的なテレビ局は、ナビゲーションが測位した現在地と、ディスクに収録されている地域別のテレビ局のデータを元に、リスト表示されます。
- 代表的なテレビ局としてディスクに収録されているチャンネルは、テレビ局の名前で表示されます。
- テレビ側に記憶されているチャンネルは、「 チャンネル」と表示されます。ただし、そのチャンネルが代表的なテレビ局でもある場合は、テレビ局の名前で表示されます。
- 旅行や出張などで、受信できるチャンネルが異なる地域に移動した場合でも、測位した現在地情報をもとに、その地域に合ったチャンネルがリスト表示されます。
- 代表的なテレビ局としてリスト表示されても、現在地周辺の環境や電波の状況によっては、受信できない場合があります。
- ディスクに収録されていないテレビ局は表示されません。新しく開局したテレビ局などは、自動選局で受信してください（ 「記憶されていないチャンネルを見る」 36ページ）。

自分がいる地域のチャンネルを選ぶ（エリア選局）

リスト表示させる操作を省略して、現在自分のいる地域の代表的なテレビ局のチャンネル（およびテレビ側に記憶されているチャンネル）を簡単に選局することができます。

1. リモコンの操作モード切り換えスイッチを「TV」にする
2. リモコンの▲ボタンまたは▼ボタンを押す
リスト表示されるチャンネルに、順番に切り換わります。



Memo

「テレビ音声オフ」のときは、この操作はできません。

TVモニターを調整する

TVモニター前面についているボタンを使って、映像や音声を調整することができます。お使用の環境や好みに合わせて、設定を変更してください。

設定画面の基本的な操作

TVモニターの設定を行うには、まず設定したい項目の設定画面を表示させます。

設定画面を表示する

1. WIDE/MENUボタンを2秒以上押す
設定画面が表示されます。



設定画面を選ぶ

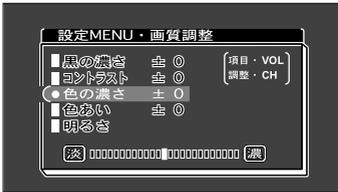
1. WIDE/MENUボタンを押す
WIDE/MENUボタンを押すたびに、設定画面が次の順に切り換わります。



- ① 「画質調整」 映像や画面の見えかたを調整します。
- ② 「FMトランスミッター」 音声をFM電波で飛ばして、カーステレオのスピーカーで聞くとときに使います。
- ③ 「モニターSP音声設定」 ナビゲーションの音声とテレビの音声を重ねて聞くとときに使います。
- ④ 「プリセットメモリー」 チャンネルの記憶内容を変更します。
- ⑤ 設定画面の解除 設定画面が消えます。

項目を選ぶ

1. VOLボタンのUP側やDOWN側を押す
目的の項目を反転表示させます。



UP側を押すと上、DOWN側を押すと下の項目が選ばれます。

設定を変更する

1. CHボタンのUP側やDOWN側を押す
設定を調整します。



設定を続ける/終了する

WIDE/MENUボタンを押すと、次の設定画面が表示されます。引き続き設定を行うことができます。

設定を終了する場合は、設定画面が消えるまで、WIDE/MENUボタンを繰り返し押します。

映像の黒の濃さや色を調整する

お好みに合わせて、映像の黒の濃さ、明暗（コントラスト）、色の濃さ、色あいを変更できます。ナビゲーション、テレビそれぞれで設定内容が別々に記憶されます。

1. 調整したい映像を表示させる

2. WIDE/MENUボタンを2秒以上押す

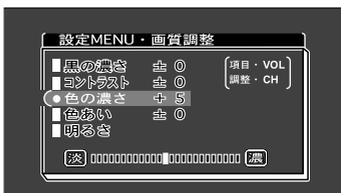
「画質調整」画面が表示されます。【黒の濃さ】が選ばれています。



3. VOLボタンで調整したい項目を選ぶ



4. CHボタンで設定を調整する



5. WIDE/MENUボタンを4回押す
設定画面が消え、設定終了です。

Memo

調整項目/使用ボタン	CH DOWN	CH UP
黒の濃さ	黒が薄くなる	黒が濃くなる
コントラスト(明暗)	白黒の差が小さくなる (暗くなる)	白黒の差が大きくなる (明るくなる)
色の濃さ	薄くなる	濃くなる
色あい	肌色が紫がる	肌色が緑がる

- 黒の濃さとコントラストの設定内容は、車のライトがOFFのときとONのときで、別々に記憶されます。
- ナビゲーションの映像では、色の濃さと色あいは調整できません。

3. CHボタンで設定を調整する



UP側を押すと、画面は明るくなります。
DOWN側を押すと、画面は暗くなります。

4. WIDE/MENUボタンを4回押す

設定画面が消え、設定終了です。

【明るさ】の調整内容は、設定画面が消えるときに記憶されます。【明るさ】調整後に電源をOFFにしたり、車のエンジンを切ったりするときは、設定画面を消してからOFFにしてください。

Memo

明るさは、調整するときの外光レベル（暗いとき／明るいとき／中間）によって、調整内容が別々に記憶されます。それぞれの外光レベルで設定されている明るさを元にして、周囲の明るさに応じて液晶画面の明るさが自動的に調整されます。

音声をFM付きカーステレオで聞く

テレビの音声をFM電波にのせて出力し、その電波をFM付きカーステレオで受信して、カーステレオのスピーカーから音声を聞くことができます。

1. WIDE/MENUボタンを2秒以上押す

「画質調整」画面が表示されます。

2. WIDE/MENUボタンを押す

「FMトランスミッター」画面が表示されます。【トランスミッター】が選ばれています。



3. CHボタンで「ON」を選ぶ

【周波数】と【レベル】を調整できるようになります。



4. VOLボタンで【周波数】を選ぶ



5. CHボタンで出力させたい周波数を選ぶ
76.4～78.4MHzの中から、0.1MHzステップで選ぶことができます。
6. WIDE/MENUボタンを3回押す
設定画面が消え、設定終了です。
7. 音声ソースを「テレビ」に切り換える
リモコンのSOURCEボタンを押して、音声ソースを「テレビ」にします。（「カーステレオからテレビの音声を出力する」37ページ）
8. カーステレオをFMに切り換え、受信周波数を手順5で選んだ周波数に合わせる
テレビの音声をカーステレオのスピーカーから聞けるようになります。

Memo

- 送信用アンテナリード線の配置場所や、受信する側のカーステレオのアンテナによっては、ノイズが聞こえたり、受信感度が低くなる場合があります。
- FM放送と混信する場合は、他の周波数を選んでください。
- FMトランスミッターの実用到達距離は、約2mです。

FMトランスミッターのレベルを調整する

カーステレオのスピーカーで本機の音声を聞いていて、普通のFM放送と音量が違ってると感じたときは、FMトランスミッターのレベルを調整して、FM放送の音量と合わせてください。

1. WIDE/MENUボタンを2秒以上押す

「画質調整」画面が表示されます。

2. WIDE/MENUボタンを押す

「FMトランスミッター」画面が表示されます。【トランスミッター】が選ばれています。



3. VOLボタンで【レベル】を選ぶ



4. CHボタンでレベルを調整する

- FM放送の音が大きく聞こえるときは、レベルを大きくしてください。
- 本機の音が大きく聞こえたり、歪みを感じたときは、レベルを小さくしてください。



5. WIDE/MENUボタンを3回押す

設定画面が消え、設定終了です。

テレビの音声に音声案内を重ねる

TVモニター内蔵スピーカーから、テレビの音声とナビゲーションの音声案内を重ねて出力させることができます(ガイドミキシングといいます)。

1. WIDE/MENUボタンを2秒以上押す

「画質調整」画面が表示されます。

2. WIDE/MENUボタンを2回押す

「モニターSP音声設定」画面が表示されます。【ガイドミキシング】が選ばれています。



3. CHボタンでガイドミキシングのON/OFFを選ぶ

- 「ON」 TVモニター内蔵スピーカーから、テレビの音声とナビゲーションの音声を重ねて出力されます。
- 「OFF」 ガイドミキシングは行われません。

4. WIDE/MENUボタンを2回押す

設定画面が消え、設定終了です。

Memo

カーステレオのスピーカーから、ガイドミキシングした音声を出力することはできません。

音声案内がよく聞こえるようにする

TVモニター内蔵スピーカーでガイドミキシングを行っている場合、一時的にテレビの音量を小さくしたり、0にしたりして、音声案内を聞き取りやすくすることができます。

1. WIDE/MENUボタンを2秒以上押す

「画質調整」画面が表示されます。

2. WIDE/MENUボタンを2回押す

「モニターSP音声設定」画面が表示されます。【ガイドミキシング】が選ばれています。



3. VOLボタンで【ガイド時音声設定】を選ぶ



4. CHボタンで好みの設定を選ぶ

「NORMAL」「ATT」「MUTE」の中から選ぶことができます。

- 「NORMAL」 音声案内が流れている間も、テレビの音量は変わりません。
- 「ATT」 音声案内が流れるとき、テレビの音声が自動的に小さくなります。
- 「MUTE」 音声案内が流れるとき、テレビの音声が自動的に聞こえなくなります。

5. WIDE/MENUボタンを2回押す

設定画面が消え、設定終了です。

チャンネルの記憶を変更する

ご利用の地域に合わせてチャンネルを記憶させたいときは、次の手順で設定をやり直してください。

1. WIDE/MENUボタンを2秒以上押す
「画質調整」画面が表示されます。
2. WIDE/MENUボタンを3回押す
「プリセットメモリー」画面が表示されます。【プリセットNo】が選ばれています。



3. CHボタンで記憶させる番号を選ぶ
1～12の中から選びます。[]の中には、現在記憶されているチャンネルが表示されます。



4. VOLボタンで【受信ch】を選ぶ



5. CHボタンで記憶させたいチャンネルを受信する
1～62chを受信できます。

6. VOLボタンで【決定】を選ぶ



7. CHボタンを押し、記憶させる

[]内のチャンネル番号が、受信したチャンネル番号に変わります。



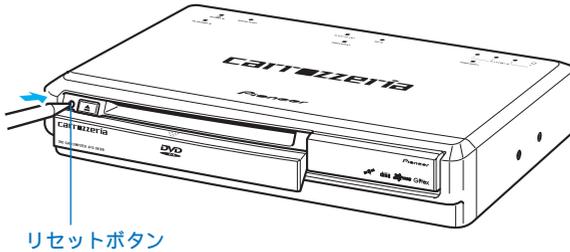
他にも記憶させたいチャンネルがある場合は、手順3～7の操作を繰り返してください。

8. WIDE/MENUボタンを押す
設定画面が消え、設定終了です。

次のようなときは、本機のリセットボタンを押してマイコンをリセットしてください。

- 接続が終わった後
- 正しく動作しないとき
- 画面が正しく表示されないとき

ボールペンの先などで、リセットボタンを押します。



Memo

リセットボタンを押すと、映像や音声の設定（FMトランスミッターの設定や、記憶させたチャンネルなど）が消去されますので、もう一度セットし直してください。

ディスクの正しい使いかた

使用できるディスク

本機では、本機専用のDVD-ROMのみが使用できます。

一般のDVD-ROMやCD-ROM、音楽CDなど、本機専用以外のディスクは使用できません。

ひび、キズ、そりのあるディスクは使用しないでください。



取り扱い上のご注意

ディスクは、記録面(虹色に光っている面)をさわらないように、持ってください。

ディスクにキズを付けないでください。ディスクに紙やシールなどを貼り付けないでください。



お手入れについて

ディスクが汚れたときは、柔らかいきれいな布で、ディスクの内側から外側へ軽く拭いてください。



ディスクに、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。また、ディスクには、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。



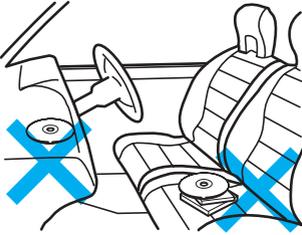
当社では、ディスクのクリーニングキット「JV-D11」を別売しています。カーステレオ販売店でお買い求めください。

Memo

製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実使用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

保管上のご注意

ディスクは、直射日光の当たるところや高温になるところには、保管しないでください。



ディスクがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

ディスク再生の環境について

走行中、振動のショックでディスクのデータを正確に読み取れないことがあります。(画面の表示切り換えが遅くなってしまうことがあります。)

寒いとき、ヒーターを入れた直後にディスク再生を始めると、本機内部の光学系レンズやディスクにつゆが付いて、正常な再生ができないことがあります。このようなときは、1時間ほど放置して自然につゆがとれるのをお待ちください。ディスクに付いたつゆは柔らかい布でふいてください。

高温になると、保護機能が働き、ナビゲーションの動作が停止します。

取り扱い上のご注意

TVモニターに直射日光が当たる状態で長時間放置しておくと、高温になり、液晶画面が故障する恐れがあります。

本機を使用していないときは、TVモニターに直射日光が当たらないようにしてください。

TVモニターは次の温度範囲内でお使いください。

使用温度範囲： - 10度 ~ + 50度

保存温度範囲： - 20度 ~ + 80度

TVモニターの液晶画面は、車内での視認性向上のためにむき出しになっています。故障する恐れがありますので、液晶画面を強く押さないでください。キズや汚れの原因になりますので、液晶画面は触らないでください。

液晶画面について

TVモニター画面の中に小さな黒い点や明るく光る点(輝点) が出る場合があります。これは液晶モニター特有の現象で故障ではありません。

寒いところでお使いになるときは、電源を入れた後、しばらく画面が暗いことがあります。時間がたつと正常な明るさに戻ります。

TVモニター画面に直射日光が当たると、光が反射し映像が見づらくなりますので、直射日光をさえぎってください。

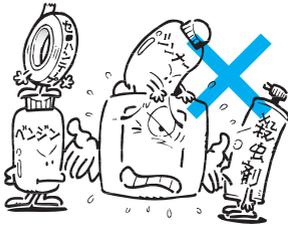
お手入れについて

画面に付いたホコリやTVモニターの汚れを清掃するときは、電源を切ってから、柔らかい布でから拭きしてください。

画面を拭くときは、ツメで引っかかないように注意してください。画面にキズが付くと映像が見づらくなります。

化学ぞうきんをお使いの場合は、化学ぞうきんに添付の注意事項をよくお読みください。

ぬれたぞうきんは使用しないでください。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。



小型蛍光管について

液晶画面を光らせるために、TVモニター内部に小型蛍光管を使用しています。

蛍光管は約1万時間お使いになると寿命になります。(寒いところでお使いになると、寿命が短くなることがあります。)

蛍光管が寿命になると、画面が暗くなったり、映像が映らなくなったりします。このときはお買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

保証書発行兼お客様登録カード

保証書発行兼お客様登録カードは、お買い上げ年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

この製品は、より確実にお客様をサポートさせていただくために「保証書発行兼お客様登録カード」のご返送による、お客様の登録と保証書の発行を実施させていただいております。お手数ですが、住所、お名前、電話番号および裏面のアンケートに必要事項をご記入のうえ、「保証書発行兼お客様登録カード」を必ず弊社までご返送くださるようお願いいたします。ご記入の住所、お名前に郵送いたしますので、正確に記入してください。お客様登録手続き完了後、保証書を郵送にてお届けいたします。（ご返送いただけない場合はお客様の登録ができないため保証書の発行ができません。）送られてきた保証書は記載内容をご確認のうえ、大切に保管してください。

なお、保証書のお届けには約3週間ほどがかかります。保証書が届くまでの間、「保証書発行兼お客様登録カードお客様控」は保証書の代わりになります。大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、右ページの当社無料修理規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。（性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

ご質問、ご相談は

本機、または保証書発行兼お客様登録カードに関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

お願い

より確実にお客様をサポートさせていただくために、万一、保証書がお手元に届かない場合や、ご転居、住所の変更等、ご登録内容に変更がございましたら、お手数ですがパイオニアカスタマーサポートセンターへご連絡くださるようお願いいたします。

カスタマーサポートセンター：☎0070-800-8181-11

修理をご依頼になるときは、故障の原因をより早く確実に解決するため、製品一式をお持ち込みください。なお、サービス対応時におきましては、お客様が保存されたデータが消えることがあります。重要な内容は紙などに控えておいてください。

無料修理規定

1. 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
 2. 本取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意にしたがった使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店またはパイオニアサービスステーションが無料修理いたします。
 3. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には商品と保証書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店または別紙「ご相談窓口・修理窓口のご案内」のパイオニアサービスステーションにご依頼ください。
 4. ご転居、ご贈答品等で保証書または保証書発行兼お客様登録カードに記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、別紙「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧くださいのうえ、お近くのパイオニアサービスステーションへご相談ください。
 5. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - 使用上の誤りまたは不当な修理や改造による故障および損傷。
お買い上げ後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷。
 - 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛かり等による故障および損傷。
 - 業務用の長時間使用、船舶への搭載等、通常以外のご使用をされた場合の故障および損傷。
 - 消耗品（各部ゴム、電池等）の交換
 - 未登録のお客様で保証書発行兼お客様登録カードのご提示がない場合。
 - 保証書の文字を書きかえられた場合。
 - 保証書発行兼お客様登録カードにお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合。
 - 故障の原因が本製品以外の他社製品にある場合。
 6. 保証書およびこの無料修理規定は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
 7. 保証書および保証書発行兼お客様登録カードは再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。
- * 保証書は、保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって保証書およびこの無料修理規定によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明な場合は、お買い上げの販売店または別紙「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧くださいのうえ、パイオニアカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。
- * 保証期間中に保証書を紛失した場合でもご登録いただいておりますと、確認に多少お時間をいただく場合がございますが、当社無料修理規定に基づき修理いたします。

ナビゲーション本体 (GPS部)

方式：
L1、C/A コード GPS、SPS スタンダード・ボジショニング・サービス

受信方式：
8チャンネル マルチ チャンネル受信方式

受信周波数：
1,575.42 MHz

感度：
- 130 dBm

測位更新時間：
約1回/1秒

ナビゲーション本体

最大消費電流：
3 A

使用電源：
DC 14.4 V (10.8 ~ 15.1 V使用可能)

アース方式：
マイナスアース方式

TVモニター

画面サイズ：
6.5インチワイド (有効表示面積：
79.3 × 143.4 mm)

画素数：
280,800 画素 (234 × 1,200)

方式：
TFT アクティブマトリクス方式、透過型

エッジライト：
冷陰極コノ字管

使用温度範囲：
- 10 ~ +50

保存温度範囲：
- 20 ~ +80

内蔵スピーカー：
36 mm

TVチューナー

受信チャンネル：
VHF 1 ~ 12 ch、UHF 13 ~ 62 ch
(モノラル音声)

アンテナ入力：
4 ch ダイバシテイ

FMトランスミッター使用周波数：
76.4 ~ 78.4 MHz (0.1 MHz間隔で可変)

GPSアンテナ

アンテナ：
マイクロストリップ平面アンテナ/右円偏波

アンテナケーブル長：
6.0 m

TVアンテナ

出力端子：
3.5 ミニプラグ × 4

アンテナケーブル長：
6.0 m

外形寸法

ナビゲーション本体 (TVチューナー一体)：
282 (W) × 52 (H) × 212 (D) mm

TVモニター：
187 (W) × 111 (H) × 35 (D) mm

GPSアンテナ：
46 (W) × 46 (H) × 13 (D) mm

TVアンテナ：
30 (W) × 193 (H) × 32 (D) mm (収納時、アンテナベース含まず)

リモコン：
38 (W) × 145 (H) × 30 (D) mm

質量

ナビゲーション本体：
3.3 kg

TVモニター：
0.39 kg

GPSアンテナ：
130 g

TVアンテナ：
300 g (コード含む、片側)

リモコン：
80 g (電池含む)

付属品

DVD-ROMディスク：1
リモコン：1
単4形アルカリ乾電池（LR03）：2
コード類：1式
取付キット：1式
取付説明書：1
スタートブック：1
クイックブック：1
ナビゲーションブック：1
レスキューブック：1
安全上のご注意：1
保証書発行兼お客様登録カード：1
ご相談窓口・修理窓口のご案内：1
VICSサービス契約約款：1

Memo

- 仕様および外観は予告なく変更することがあります。またこの説明書中のイラストと実物が、一部異なることがあります。
- 本機は日本国内専用です。GPSの測位範囲が異なる外国ではご使用いただけません。
- テレビの受信状態がよくないチャンネル（電波の弱いチャンネル）は、GPSの影響で、画面に斑点や色模様などのノイズが出ることがあります。

スタートブック

**START
BOOK****お客様ご相談窓口 (全国共通フリーフォン)****カスタマーサポートセンター****カーオーディオ / カーナビゲーション商品のお問い合わせ窓口****☎0070-800-8181-11****カタログのご請求窓口****☎0070-800-8181-33**

<ご注意> PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話、および海外からの国際電話ではご利用になれません。あらかじめご了承ください。
修理に関しては、別添えの『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

ホームページでのカタログ請求とメールサービス登録のご案内
<http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg.html>

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 1999

< 99J00F0K00 > < CRA2890-B >